

受講生各位

受 講 案 内

- 集 合 各直属教会信者詰所で受付票を受け取り、3月3日正午から12時30分までの間に受付票で指示された場所（下の宿舎いずれか）にて受付をしてください。
※3月3日の昼食は用意しておりませんので、各自で済ませて集合してください。
※受付時に学生証を確認します。提示のない場合は受講できません。
- 宿 舎 7.8.9母屋、12母屋、38母屋、高安詰所
- 受講御供 10,000円（詰所へ納入してください）
- 携 行 品 ・受付票 ・ハッピ（ひも付き又は帯を持参）
・にをいがけにふさわしい服装 ・ひのきしん用のズボン（男女共）
・運動靴（期間中、長時間歩くプログラムもありますので履き慣れたものを用意する）
・筆記具 ・防寒着 ・雨傘 ・洗面具
・同封の修練、選択講義記入用紙（必要事項を記入し受付時に提出）
・学生証 ・保険証（コピー可）
※傘を忘れた場合は購入していただきます。
※宿舎で洗濯はできますが、時間があまりありませんので、着替えは多めに持ってきてください。
※憩の家受診歴のある方は診察券を持参してください。
※薬（頭痛薬・便秘薬・生理痛薬・酔い止め・吸入薬等）を常用している方は、必ず持参してください。
※宿舎内は非常に乾燥しますので、必ずマスクを持参してください。
- 服 装 ・期間中はハッピを着用します。
・履物は男女共、靴に限ります。（サンダルは禁止）
※2回目以上参加の学生は本部浴場への移動があります。必要な方は外用サンダルを持参してください。
- 修練・講義 別紙【修練について】、【選択講義について】を熟読し必要事項を用紙に記入の上、3月3日受付時に提出してください。
※裏面も必ずご覧ください

□別席 別席を運ぶ方は、席札を持参してください。尚、初席者は所属の教会を通して事前に必要な手続きを済ませ、願書を持参してください。 ※初席者は「別席の誓いの言葉」を必ず覚えてきてください。

□解散 3月9日午前10時頃（解散場所は各宿舎）

- 留意点
- ・全日程を通して受講すること。期間中の外出は認めません。
 - ・予め帰途の乗車券を準備しておいてください。
 - ・飲食物の持ち込みは出来ません。※期間中は禁酒
 - ・20才未満の方は法律で定められている通り喫煙は出来ません。
 - ・面会にあたっての差し入れは受け付けません。
 - ・期間中、感染性疾患と診断された場合は自宅療養（詰所療養）を指示されています。その際、迎への事やその後の対応については、個別に相談いたします。
 - ・期間中の映像や写真は、印刷物及びインターネットを通じた広報に使用することがありますのでご了承ください。

※何らかの事情で不参加、又は受付に間に合わない場合は、必ず事前に学生担当委員会まで連絡してください。

連絡先

<2月28日まで>○学生生徒修養会事務局：0743-63-2489	
<3月1日～9日>○学生生徒修養会総務（2母屋）：0743-63-2489	
○各宿舎 0743-63-1511（代表）	
みのり塾（12母屋）：080-3718-5711	よふき塾（38母屋）：080-3718-5712
つなぎ塾（7.8.9母屋）：内線5498	いさみ塾（高安詰所）：080-3718-5713

午後5時から午前7時までの電話について

教会本部交換台の時間外になりますので、内線番号にかける場合は、お手数ですが以下の手順でおかけください。

- 1、0743-63-2511に電話をする。
- 2、コール音が2、3回鳴った後に通話中の音に変わるのを待つ。
- 3、上記の内線番号を入力する。
- 4、コール音が鳴り、目的の塾につながる。

受講生各位

立教 182 年 学生生徒修養会 大学の部

救護係からのお願い

学生生徒修養会 大学の部受講に際して、下に留意事項を記します。
受講生一人ひとりにとって、有意義な学修となるように遵守ください。

■持参品について

- ・マスク
- ・常備薬（頭痛薬、便秘薬、吸入薬など）
- ・保険証
 - ※憩の家(天理よろづ相談所病院)に限りコピー可
- ・憩の家(天理よろづ相談所病院)診察券
 - ※受診経験者のみ

受講前、体調に問題がなくても、期間中は慣れない環境のため、体調を崩す可能性があります。常備薬を忘れて服用に困る受講生が毎年いますので、各自で事前に準備しておいてください。また、インフルエンザ流行の時期でもあり、マスクは必ず持参してください。

保険証を提示せずに病院で受診すると、治療費は全額負担となります。受診した時、困りますので、「自分は大丈夫。」と思わずに必ず持参してください。

保険証のコピーを用意される場合は、文字や番号がはっきり写っているものを用意してください。

■体調管理について

「学修に来る前から調子が悪く、学修が始まってから段々と悪化してきました。」という受講生が毎年います。救護所には応急処置ができる程度の備えしかありませんので、事前に病院で処置してもらえることは、学修へ来るまでに済ませておいてください。

修練について

3月4・5日（期間中2・3日目）に修練を行います。

下の科目の中から選択し、必要事項を記入の上、受付時にご提出ください。

- | | |
|---------------------------------|----------------|
| 1 基礎コース
(座りづとめ、よろづよ八首及び打ちもの) | 7 女鳴物（三味線）：初心者 |
| 2 てをどり前半（よろづよ八首～六下り目） | 8 女鳴物（三味線） |
| 3 てをどり後半（七下り目～十二下り目） | 9 女鳴物（胡弓）：初心者 |
| 4 男鳴物（笛） | 10 女鳴物（胡弓） |
| 5 男鳴物（小鼓） | 11 祭儀式 |
| 6 女鳴物（琴および調絃） | |

※女子は男鳴物を選択できますが、男子は女鳴物・女鳴物調絃を選択できません。

※琴および調絃を希望する方は琴の爪をご持参ください。

選択講義について

3月5日（期間中3日目）に選択講義を行います。

部屋の収容人員の関係で第3希望まで記入の上、受付時に提出してください。（必ずしも第1希望になるとは限りませんので、この旨ご了承ください）

▽5日選択講義

講義60分+Q&A30分

1. きつと、うまくいく

たかぶち とおる
講師 高 洩 徹 先生(小南部大教会・法奥金澤分教会長)

長年カリスマ的教会長として称される先生、数多くの逆風を物ともせず勇んでお通りになられています、その原動力は教祖のひながたを見つめること。そしてにをいがけに歩く中で「医者の手余りが次々と助かっていく不思議だ」とおっしゃいます。人生に悩みは付き物ですがそんな貴方の悩みを吹き飛ばすお話を聞かせてくださいます。

2. すべては、親がいてくれたから

うめはら こうじ
講師 梅原 浩司 先生(大江大教会・大啓分教会長)

高校の時、四回の停学という勲章！？をもつ先生。もともと天理教の道を歩むつもりなどさらさら無く奔放な人生を送っておられました。しかし友人の一言がきっかけで行った布教の中で、両親について考え、そのありがたさに気が付き、さらには神様を感じる不思議に遭遇されます。将来の不安は尽きませんが「不安上等！！」貴方を神様の世界へお連れします。

3. 私にとって、一番大事なもの

はま たか
講師 濱 孝 先生(東愛大教会・信道分教会長夫人)

おちばで育ち、音楽の道に進み、プロの演奏家として生活していたが、長年の目標だったドイツ留学を前に、高校の同級生であったご主人と出会い、華やかな音楽の世界から、教会へ嫁ぐことを決意。あっさり方向転換された理由を「だって、こっちの方が楽しそうだったから」と、楽しそうに話されます。これまでの出会いや様々な経験のお話はきっとあなたの心を温めます。

4. 2700 マイル先の国で暮らしたよふぼくの体験談

なかがわ としゆき
講師 中川 利行 先生(敷島大教会・海外部翻訳課：タイ語)

信者家庭の子供として育った一人のよふぼく。「将来布教に携わる人生を歩むとは夢にも思っていませんでした」と語られます。そんな先生は神様の不思議なお引き寄せを受けてタイという遠い地にてよふぼくとして暮らされます。将来はサラリーマンにでもなるつもりだったよふぼくの身にいったい何が起こったのでしょうか。神様の不思議なお引き寄せを貴方に。

班

選択修練・講義記入用紙

※班は受付時に
スタッフが記入

ふりがな _____

氏 名 _____

性 別 男・女

選択修練

- 基礎コース(座りづとめ、よろづよ八首及び打ちもの)
- てをどり前半(よろづよ八首～六下り目)
- てをどり後半(七下り目～十二下り目)
- 男鳴物(笛)
- 男鳴物(小鼓)
- 女鳴物(琴および調絃) ※女子のみ、琴の爪
- 女鳴物(三味線):初心者 ※女子のみ
- 女鳴物(三味線) ※女子のみ
- 女鳴物(胡弓):初心者 ※女子のみ
- 女鳴物(胡弓) ※女子のみ
- 祭儀式

※希望する科目(番号)を
記入して下さい。

※忘れ物など

(塾にて記入)

第1希望	
第2希望	
第3希望	

選択講義

※希望する講義(番号)を
記入して下さい。

- 「きっと、うまくいく」高瀬 徹 先生
- 「すべては、親がいてくれたから」梅原 浩司 先生
- 「私にとって、一番大事なもの」濱 孝 先生
- 「2700 マイル先の国で暮らしたよふぼくの体験談」中川 利行 先生

第1希望	
第2希望	

※3月3日受付時に、受付票と一緒にご提出ください。

立教 182 年 2 月 15 日

受講生各位

天理教学生担当委員会

立教 182 年 学生生徒修養会 大学の部
みのり塾「おつとめまなび」におけるおつとめ衣持参のお願い

この度は、「立教 182 年 学生生徒修養会 大学の部」に申込みをいただき、誠にありがとうございます。

さて、貴方が入塾するみのり塾（3 回以上参加、または 2 回目の 4 年生以上の受講生）では、おつとめ衣を着用しておつとめまなびを勤めさせていただきます。

所属教会の会長様ともご相談いただき、おつとめ衣をご持参ください。

【持ち物】

男子

おつとめ衣一式、白足袋 ※履き物は不要

女子

おつとめ衣一式（小物も含む）、白足袋 ※履き物は不要